

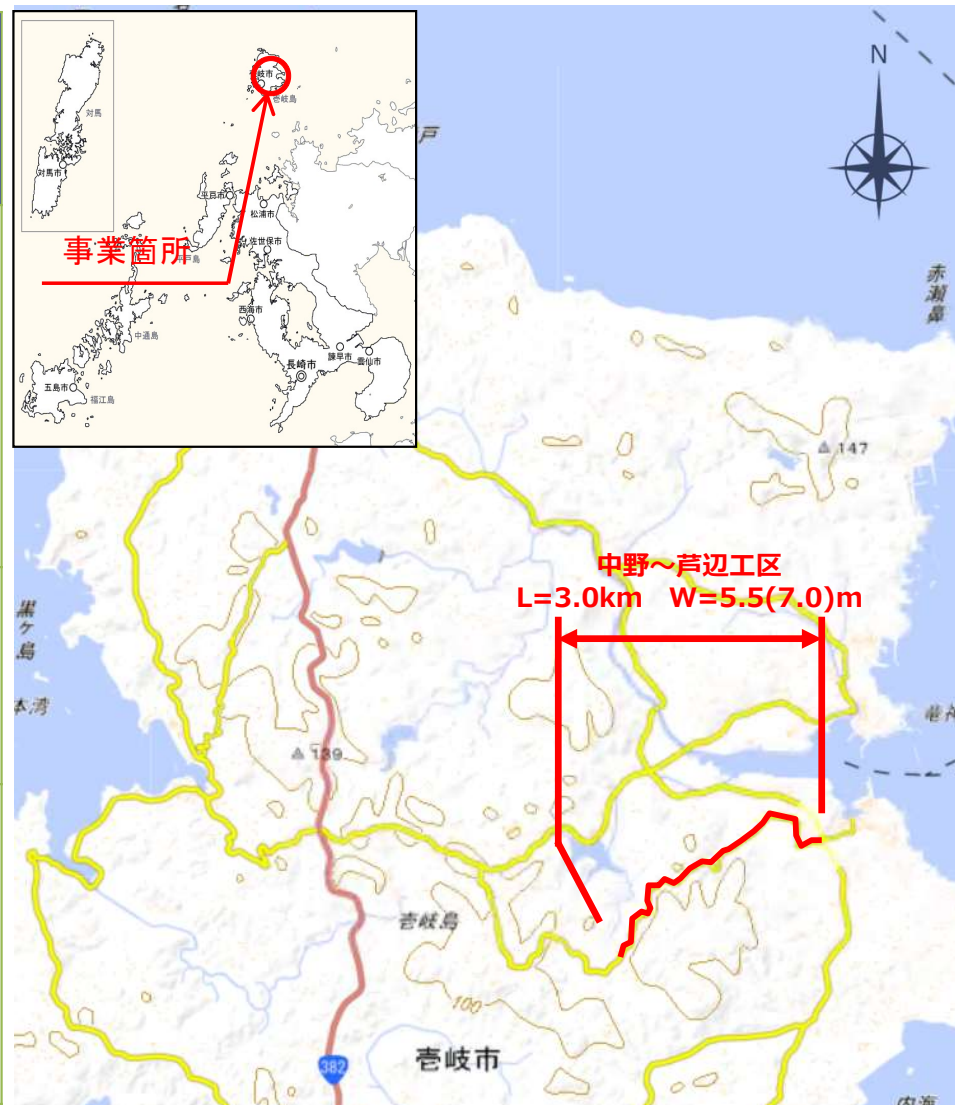
令和7年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建－7 道路改築事業
一般県道湯ノ本芦辺線
(中野～芦辺工区)

事業主体 長崎県

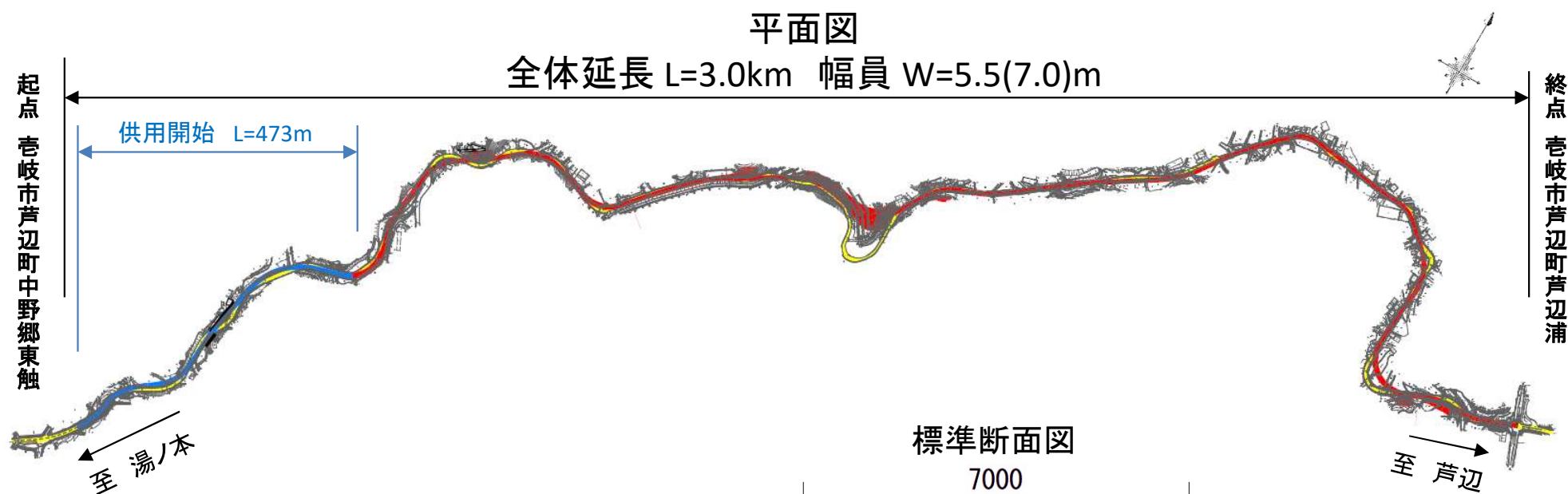
再評価
の理由 事業採択後6～9年目
(事業費・工期)



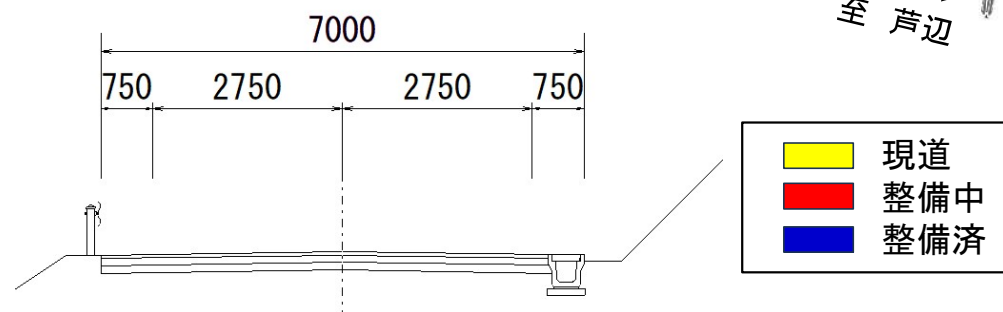
1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	概要
		着工	完了			
当初 (H30新規)	—	H30	R6	10.0	1.18	【工事概要】 延長=3.0km 幅員=5.5(7.0)m
土木部内報告 (R4年度)	事業採択後 5年経過時の 土木部内報告	H30	R8	10.0	1.29	【当初評価からの変更概要】 ・地すべり防止区域内の 工法協議による工期延長
第1回審議 (R7年度)	事業採択後 6～9年経過 (事業費・工期)	H30	R15	18.5	1.11	【前回評価からの変更概要】 ・地質調査の結果に基づいた 工法見直しによる事業費増 ・相続人との合意形成などに時間 を要したことによる工期延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯



標準断面図



◆目的

一般県道湯ノ本芦辺線(中野～芦辺工区)は、安全安心な交通の確保及び緊急輸送道路の機能強化を目的としている。

◆事業概要

全体延長	L=3.0km
幅員	W=5.5(7.0)m
計画交通量(R22)	1,197台/日

◆事業経過

平成30年度	事業化
令和3年度	用地買収着手
令和3年度	工事着手
令和6年度末現在	473m供用開始済

【令和7年3月末現在】

事業進捗率 40%(事業費ベース)
用地進捗率 87%(面積ベース)

3. 事業の効果・必要性

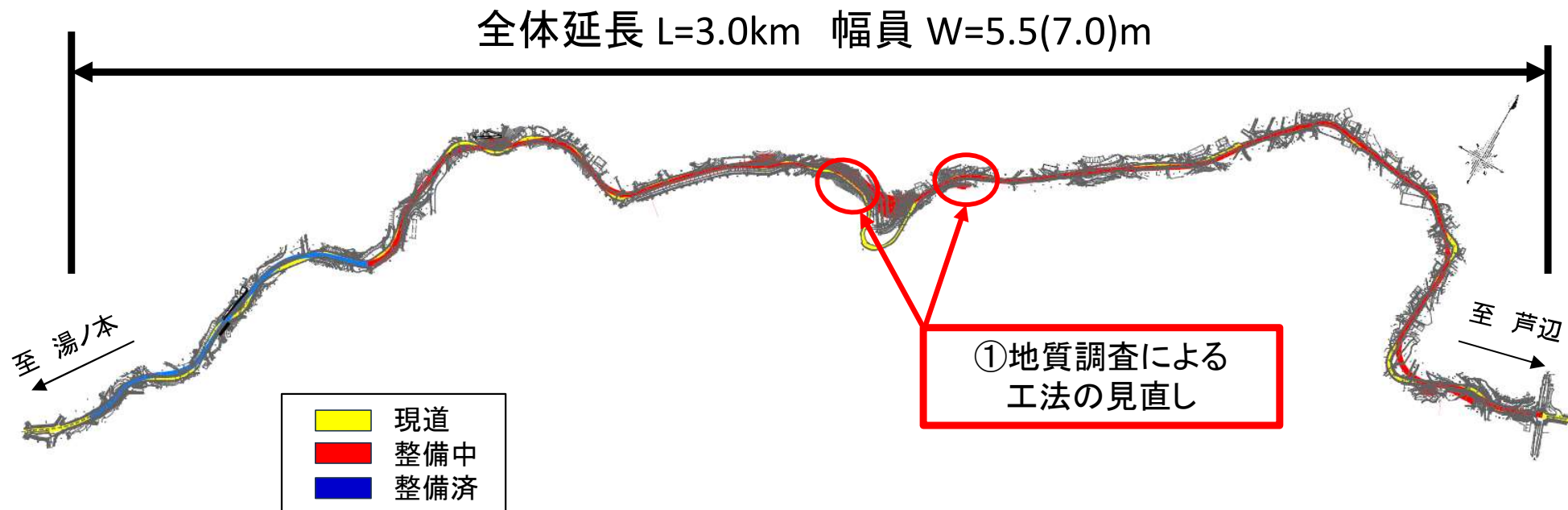
- 島内の東西地区を結び生活、産業の重要な役割を担う路線であり、緊急輸送道路にも指定されているが、幅員が狭小で線形も悪いことから円滑な通行に支障をきたしている。



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

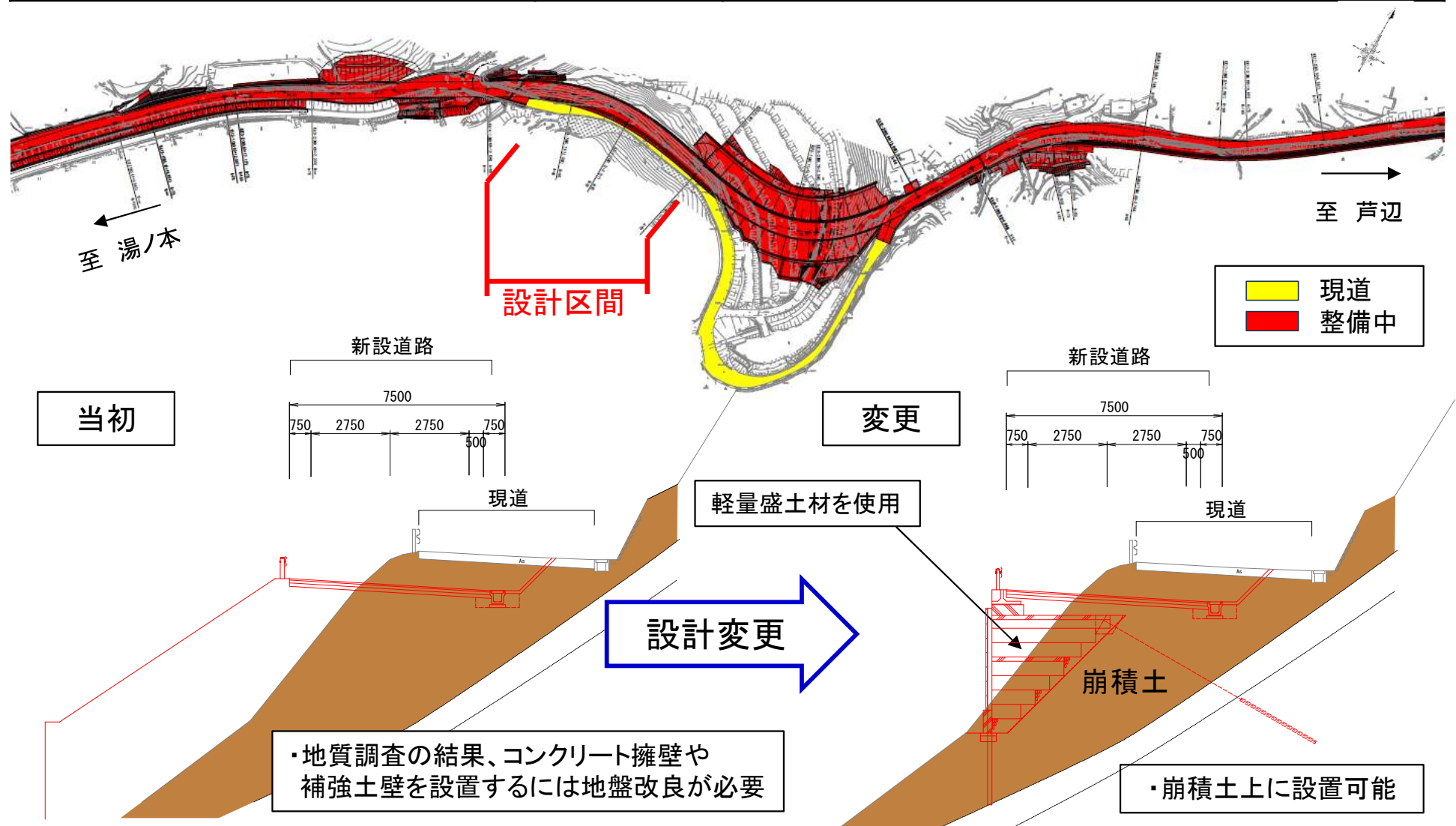
【事業費増】10.0億円(前回)⇒18.5億円(今回)

事業費増の内容	増額(億円)	主な増額理由
①地質調査による工法の見直し	5.0	地質調査の結果、切土部・盛土部の安定性に懸念が生じたため、工法の見直しを行った
②その他	3.5	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など
計	8.5	



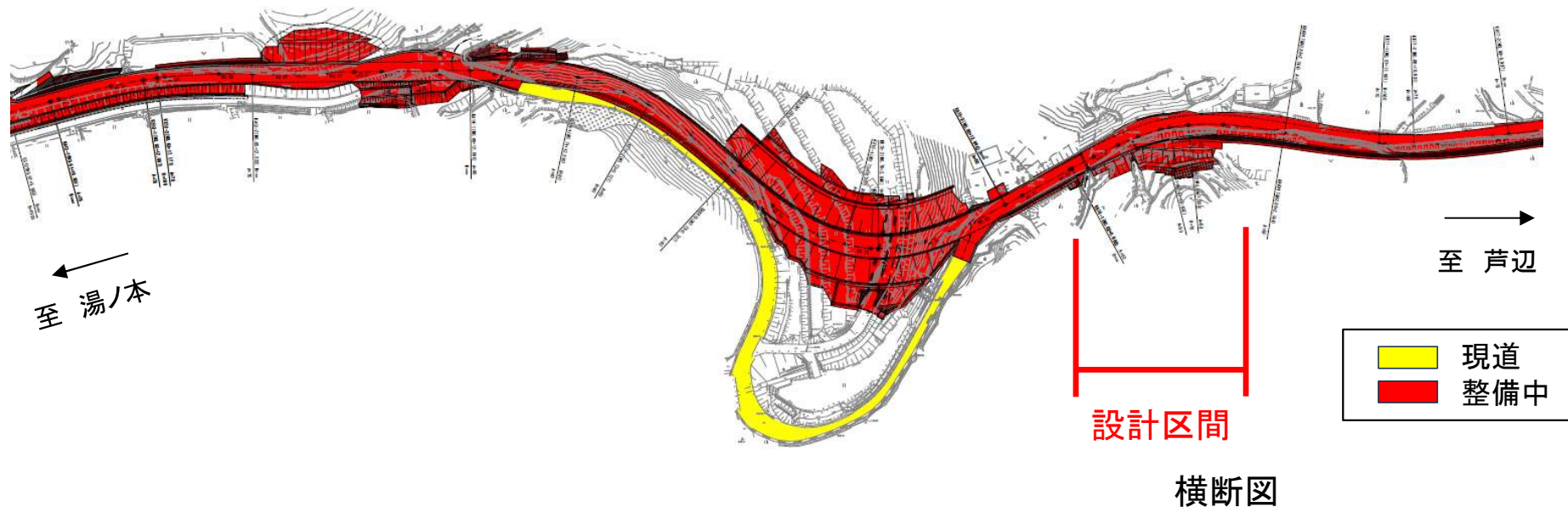
4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

事業費増の内容	増額(億円)	主な増額理由
①地質調査による工法の見直し	3.8	盛土部の工法を軽量盛土工に変更



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

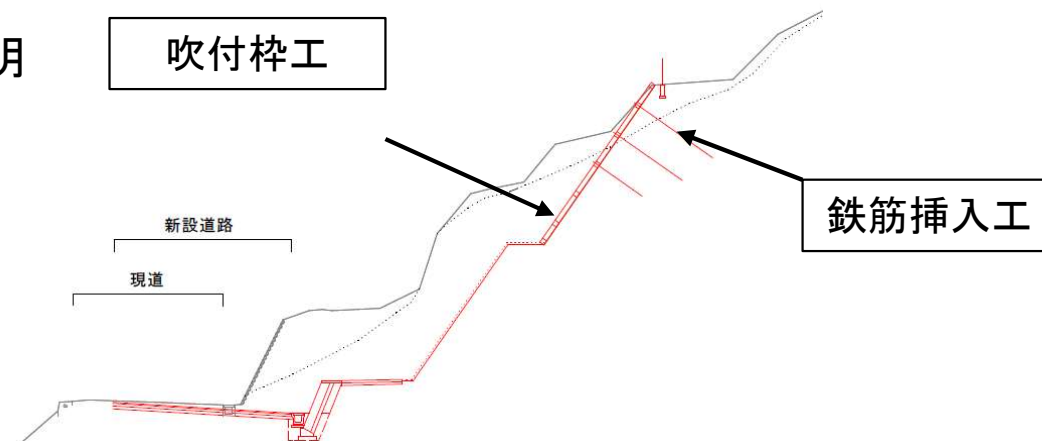
事業費増の内容	増額(億円)	主な増額理由
①地質調査による工法の見直し	1.2	切土部の工法を鉄筋挿入工・吹付砕工に変更



地質調査の結果、想定より土質が悪いことが判明

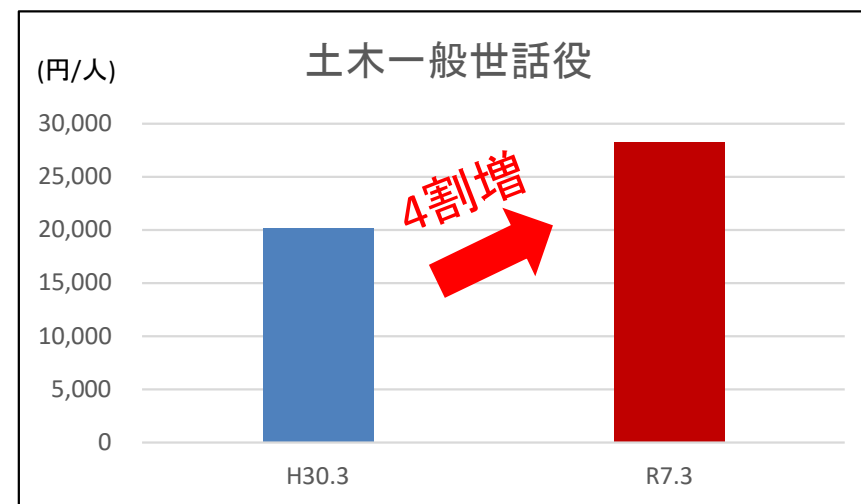
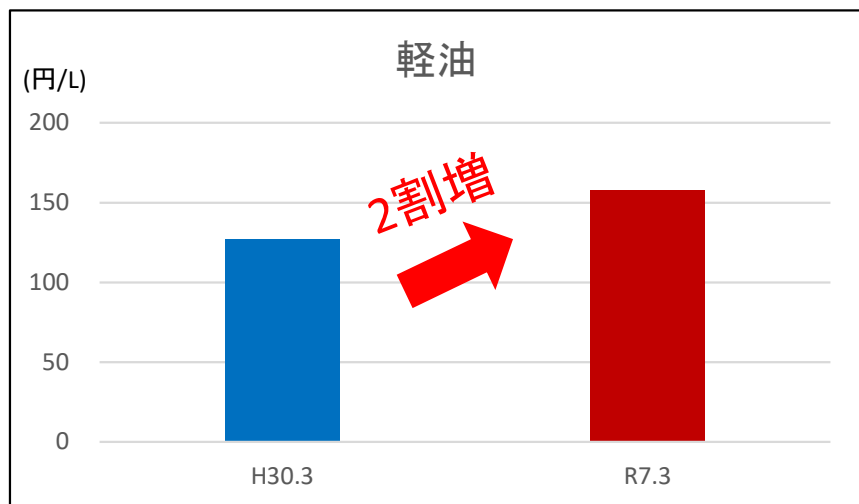
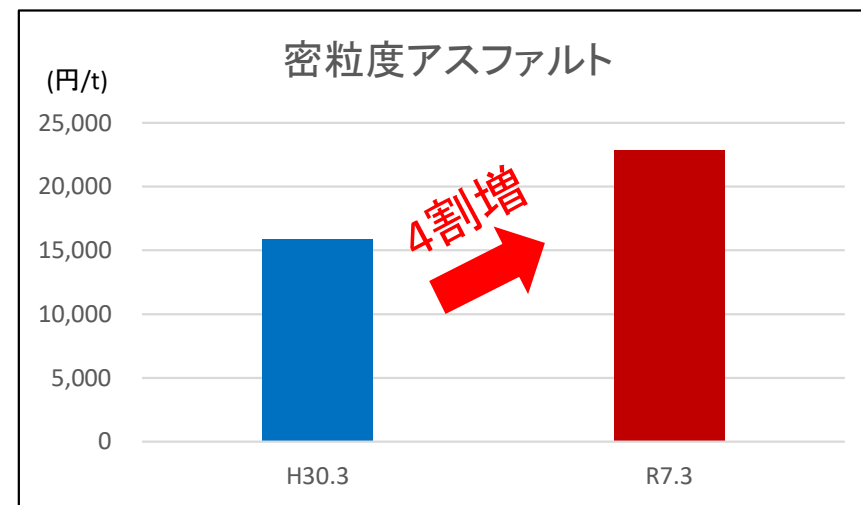
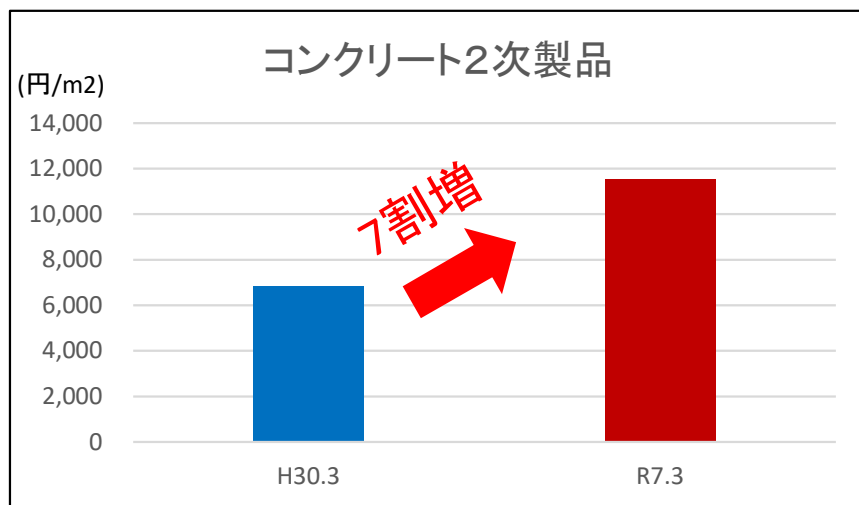


鉄筋挿入+吹付砕工に工法見直し



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

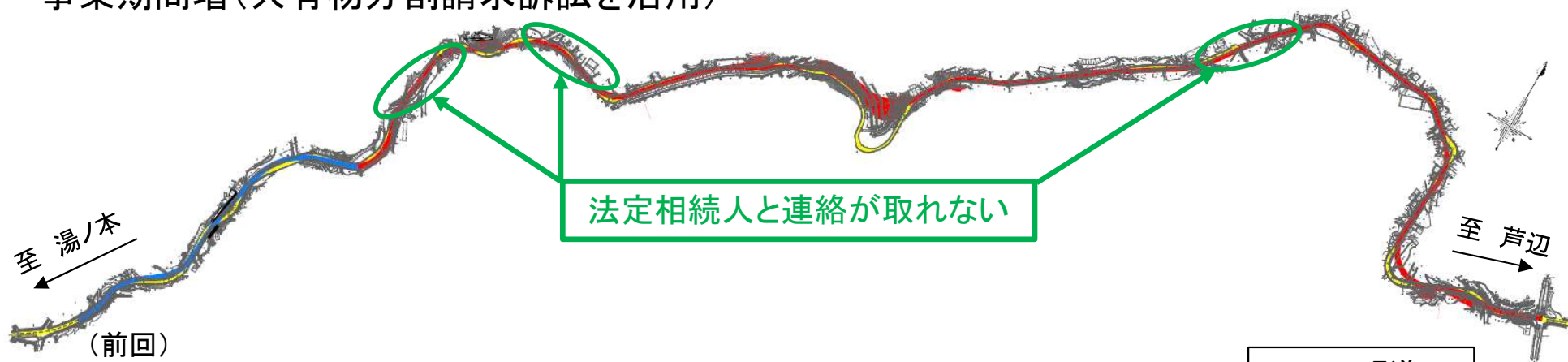
事業費増の内容	増額(億円)	主な増額理由
②その他	3.5	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など



4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R6(前回)⇒R15(今回)

- 一部地権者の法定相続人の一人と連絡が取れず、交渉を進めることが出来なかったことによる事業期間増(共有物分割請求訴訟を活用)



(前回)

項 目	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
測量調査・設計							
用地・補償							
工事							

	現道
	整備中
	整備済

(今回)

項 目	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
測量調査・設計																
共有物分割訴訟						相続から10年間										
用地・補償																
工事																

5. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (平成30年度)	今回評価 (令和7年度)
残事業	—	1.73 = 16.87億円／9.77億円
全事業	1.18 = 10.04億円／8.47億円	1.11 = 20.66億円／18.67億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少便益

〔プラス要因〕

- ・費用便益分析マニュアルの改定
→原単位(価格)の増加

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
- ・工期の延長

◆ B/Cでは計測できない効果

- ・緊急輸送道路の防災機能強化

6. 対応方針(原案)

- ◆一般県道湯ノ本芦辺線(中野～芦辺工区)は、安全安心な交通の確保及び緊急輸送道路の機能強化を目的としている。
- ◆事業進捗率は事業費ベースで40%[7.4億円/18.5億円]であり、用地進捗率は87%となっている。(令和7年3月末現在)
- ◆「壱岐市」から整備促進を要望されている。
- ◆事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果は見込まれる。

